

連載16 そして音楽の旅は続く

デビューには大学の学園祭。

あけましておめでとうございます!
今年もよろしく願いいたします。

今年こそ、部屋の片隅に置いてある懐かしい宝物のギターを弾いてみたいとは思いますが、スチール弦は指先が痛いから無理かな。どうせコードをかき鳴らすくらいしか弾けないだし。19歳でデビューして全国キャンペーンをしてた頃も、そんなお恥ずかしい腕前でした。そこでディレクターは私の最低のギター演奏のサポートのために、上手なギタリストを連れてきてくれました。ギタリストは伊藤薫さんという方で、当時はゆったりとした身体にオーバーオール、ロングヘアに愛くるしい笑顔、でも腕前は最高!お人柄も温かくて大好きでした。ここぞというコンサートで私がとてつもない大失敗をしでかしても、薫さんは優しくった。最高のサポートしてくれました。ヤマハを辞めてからはお会いする機会も無くなり残念でしたが、それから数年後に「LOVE IS OVER」の作詞作曲者として大ブレイク!ヤッター!ってガッツポーズをしたくらい嬉しかったです。それからのご活躍は皆様ご存知の通りです。薫さんは元々シンガーソングライターなので、昔から心に沁

みる詞と曲を書いていて、私は今も忘れられない曲があります。きっとそれは彼の心に深い優しさや繊細さがあって、それを表現することができるからなんだろうな。薫先生に乾杯~!



さて、キャンペーンには生演奏のない時もあり、そんな時は新聞や雑誌のインタビューを受けるとかラジオで喋るとか、デンスケというラジカセを担いでインタビューを取りにいったりしました。ラジオで大石吾郎さんのアシスタントをさせてもらった経験を生かすことができました。ある時はNHKのベテランアナウンサーの方から、歌う時にも参考になるのではと鼻濁音の使い方を教えて貰いました。参考どころか今では宝物です。日本語の歌を歌う時には今も気を付けるように心掛けています。いろんな経験が増え、いろんな人との交流もさらに広がり、この頃は加速度的に世界が広がりました。私のデビューには東京6大学の広告研究

ジャズボーカリスト
星乃けい

officialwebsite

<https://www.hoshinokei.com>

会というサークルがバックアップについてくれたので各大学の学園祭でコンサートをしたり、大学生が広告を手掛けてくれたりしました。プロダクションが間に入るので直接お会いするのはコンサート会場だけだったけど、なんだか楽しかったなあ。ただ15歳からオトナ達が動かす世界にいたので、同世代だらけの中に入ると不思議な気分でもありました。大学生がキャンパスライフを楽しんでいるのに、私って生活のために唄ってた?それとも元々ずっとこの若い世代の中にいたの?と錯覚してしまいそうでした。学生生活を謳歌する大学生たちと、私の選んだ生き方は違うのかなあとしんみりと考えたこともありました。どっちも青春よね~(笑)



Kei Hoshino

2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーディオファンから高く評価支持される